

『横山陽子』の活動日記

6月1日に「まつさか移住交流センター」として飯南産業文化センター内に開設しました。主に、空家バンクの物件登録や見学、移住に関する相談等を受け付けています。また、今回より祝日・年末年始を除く土日の開設もおこなうこととなりました。

新型コロナウイルスの影響で、延期となっていた空家バンクの物件見学等ですが、県境をまたぐ移動が段階的解除となった現在、それらの活動を再開しつつあります。

6月初めの土曜日に、空家の見学を2組ご案内しました。2組とも若いご家族で、1組は2歳のお子様がいる、田舎でお子さんに自然豊かな生活をさせてあげたいそうです。もう1組はキャンプ好きなお夫婦で、ぽつんと一軒家のような立地を求めており、家は自分たちで直すため多少壊れていてもいいそうです。

どちらの方もこの地域を気に入ったらしく、キラキラと夢を膨らませて帰っていきました。

また、先日は、まつさか移住交流センターへ移住の相談に来た20代のご夫婦は都会生活に疲れ、自然いっぱいの田舎で畑をしながら自分のやりたいことをしたいそうです。

現在、空き家バンクの物件は、たくさんのお見学者待ち状態ですが、空き家バンクに登録されている家はまだまだ少ないのが現状です。

壊れかけていても直して住みたいという方もいますので、そのような空き家も紹介していただけると嬉しいです。また、空き家対策の課題のひとつに「片付けが大変」という声をよく聞きます。今回のたよりに掲載した内容ですが、飯南高校の生徒さんが活動の一環でボランティアにて空き家の片付けの募集をおこなっています。この取り組みは今まで2回開催し、たいへん喜んでいただきました。まだまだ限定的な取り組みですが、今後も引き続き募集していきますので、ご希望の方はお問合せください。

たくさんの方がこの地域に来てもらえるために、空家の見学では地域の魅力を伝え、地域と移住者をつなげる役割をしていけたらと思います。そして、双方のみなさまに喜んでもらえるように頑張っ活動していきたいです。

※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。